

同窓会報

発行：2007年5月20日
横浜市立南高等学校同窓会
事務局：電話 045-712-1040
FAX 045-743-4475
URL <http://nanko-ob.com>

◇新会長就任によせて



新同窓会長 おごま もと 小後摩基 (5期生)

本年4月より松村祥男先輩の後を継いで会長を仰せつかりました5期卒業の小後摩基です。前会長には及ばないとは思いますが、全力で同窓会運営の責務を果たしたいと決意しております。前会長には、良識あるリーダーシップで同窓会を主導していただき、同窓会員を代表して敬意と感謝を申し上げます。なお、今後も同窓会役員として今までの立派な経験と奥深い見識で、新役員に対しご指導いただくことをお願いいたします。

さて、同窓会は昨年創立50周年を迎え、10月の記念式典には多数の恩師と、400人を超える同窓会員が出席され、前半の半世紀の総決算として盛大に挙行されました。卒業生の社会への進出は職種的にも、職責的にも幅広く、社会への貢献は目を見張るものがあります。まさに進取の心を持ち、この前半世紀を過ごして来られた方が多くおられることを証明しています。

本年4月に51期の新同窓生を迎えました。まさに後半の半世紀のスタートを切る1期生ですので、記念すべき同窓生として特に期待をいたしております。

今後の同窓会の運営についてしばらくの間、大きなイベントはありませんが、地道な活動に終始することになります。この中で昨年の同窓会50周年記念行事の一環として行われた、「通学路の清掃」のボランティア活動は、本年以降も続けたいと思います。昨年の清掃活動時、通行人の方や通学路のご近所の方より、「ありがとうございます。」と感謝され、「今後も継続をされるのですか？」という言葉が、数多くの参加した同窓生に寄せられました。本来ですと南高のボランティア活動の一環として行われる行事に、同窓生が協力をする方法が良いと思いますが、しばらくの間は母校の協力を頂きながら、在校生の「社会貢献意識」の向上を、同窓生が先導で高めていきたい

と考えております。今後とも全同窓会員皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げ、会長就任の挨拶といたします。

◇会長退任にあたって

前同窓会長 松村祥男 (1期生)

数度に亘る会長交代のチャンスを失し、ここ創立50周年の大きな節目でようやく実現できたことに安堵しています。

若い時代は、同窓会も全くの仲良しクラブで、運営も先生方の主導でした。同窓会が満10年になった頃でしょうか、急激に卒業生が増え、従来の仲良しクラブも自立の道に向かい始めました。まず取り組んだのは会員の消息調査でした。会員は4000名を超えており調査は難航しましたが、名簿がなくては同窓会の運営が成り立たないため努力しました。さて今や、個人情報保護法により会員の消息調査はもとより、新規会員の確保に至るまで情報の扉は全て閉ざされてしまいました。交流をはかりたいと言う個人の意思に反して、法を盾に無責任で行き過ぎた取扱が行われています。このためクラス会も出来ず、同じ学舎の友も卒業を最後に縁が切れているのが実態です。

希薄と言われる世間のつながりはもっと希薄となり、個人主義や利己主義のみで、協調のない社会生活が助長されることを危惧しています。高校3年間で培った初代校長黒澤信吾先生の「良心と善意にとみあふれた健康な若人・・・」の教育方針は、社会に出て果たして育まれていくのでしょうか。この大きな課題を秘めた年に新会長として選ばれた小後摩基氏のご苦勞をねぎらいつつ、私に出来なかったことへの新たな挑戦、そしてご活躍を期待しております。

末筆となりましたが、西村哲雄校長先生をはじめ顧問の先生方、PTA・後援会の皆様大変お世話になりましたこと厚く御礼を申し上げます。



南高同窓会創立50



会場を埋め尽くした同窓生と恩

校同窓会創立50周年



弦楽部の校歌伴奏

司会神田阿久鯉



会創立50周年



松村同窓会長挨拶



会場受付



SEA EXPRESS



歴代応援団エール

同窓会創立50周年



大場代表発起人

西村現校長挨拶



サウスファイブ・ハワイアンズ

閉会の辞 小後摩副会長



祝 南高等学校

50周年記念祝賀会

校歌斉唱



師の面々



記念パーティーに出席して

第八代校長 川野寛嗣



10月14日は、会場を埋めた卒業生と懐かしい先生方に驚きました。何十年も南高に在職された先生方がおられるというのに、私が原稿を書いてよいのでしょうか。何はともあれ楽しい会合でした。企画された卒業生たちのご努力をまず称賛します。二時半に開会して、母校弦楽部演奏のあとは、みんなで校歌を歌いました。五期生の大場さんの事業報告があって、松村会長のご挨拶。そして西村校長からは修学旅行の説明などがありました。あとは卒業生のバンド（歌手）やハワイアンの演奏でした。

創立から半世紀が過ぎています。私は昭和60年に着任。8年のうちの4年は森田校長の下で、あとも全面改築の毎日でした。初代黒沢校長にもお骨折りいただき、地域の要望には先生方も苦勞されました。図面引きに始まって、夜中も各教科の職員室は、明かりがともっていました。目に見えてきた校舎を見つめながら、落成式の感動もまた忘れられません。卒業生の熱気で新

しい体育館が埋まった時、かつては自分たちの校舎もなく、南高の伝統を打ち立てた初期の先輩たちの足跡を偲びました。継ぎ足して長く延びた旧校舎の廊下は消え、教育のしくみも変わりました。これから先もどう推移していくのか。記録を刻みながら時代は移っていきます。座が賑わう中で「先生」と声をかけた教え子もいましたが、会場は年配の方が多かった。

南高は卒業生に限らず、私たち教師にとっても母校です。港南区なのになぜ南高か。発足当時をご存じの古老に何度も聞かされました。蠅に悩んだエピソード、自分も体験したような錯覚をしています。学区も今は横浜市全域になっていますが、みなさんの後輩たちの成長、同窓生のご活躍。そして同窓会のますますの繁栄を祈って報告にかえます。（川野先生はこの度春の叙勲【勲四等瑞宝章】を授章されます。心よりお祝い申し上げます。）

『横浜市立南高等学校同窓会創立50周年記念会報』
※ご希望の方は送料込み1500円にて◇申込みは事務局菊地まで



活躍する同窓生、同期会・レポート

●MAYA

44期 内田まや



横浜、東京、湘南で主にライブ活動しているシンガーのMAYAです。ジャンルで言うとR&BやSOUL系の楽曲を歌っています。

南高では1年生の時に軽音楽部に、文化祭の舞台の部などでステージを経験させてもらいました。歌手になりたいという憧れが、“なる”という現実が変わった今思うと、その当時から自分らしいスタイルとは何か？ということに常に向き合ってきた気がします。やりたい方向性を追求するため、南高時代の友人がクラブシンガーの道に導いてくれました。それから何年かHiphop、R&Bのクラブイベントで、DJやダンサーと絡みながら横浜・東京のクラブシーンを盛り上げてきました。いくつかのコンピレーションCDへの参加、年間100本近くのライブ活動、TV出演、他アーティストのバックコーラスなどを経験し、最近はバックバンドを付けてのワンマンライブやアコースティックバンドなど、クラブ以外にもカフェや海、ライブハウスなどで精力的に活動を展開しています。

ただ歌う事だけではなく、ダンス、DJ、アート、生バンド、ファッションと色々な要素を集めてコラボレーションすることが好きな私は空間をプロデュースしてみたいという気持が強く、今年に入り『Dance “Toe” the Music』というMAYA企画のイベントを横浜で主催してみました。10代、20代の若い客層だけではなく、幅広い年齢の方にいらして頂く事が出来、ライブ終盤は老若男女が一体となって踊って楽しむといった理想的な展開に！そこには愛が溢れていました。

私がこれから大切にしていきたいことは、自分自身が心から楽しむということです。私が楽しんでいるという姿が、音楽が、沢山の人たちに元気を与えることができるのなら、そのパワーを信じて歌い続けたいのです。

毎月ちょこちょこライブはやっていますが、MAYA企画の『Dance “Toe” the Music』Vol.2は9月の第4金曜日に横浜相鉄ムービル3FのTHUMBS UPにて開催予定です。グループ感たっぷりのMAYAワールドを体感しに是非いらして下さい！これからの「MAYA」の活動に期待していて下さいね！それでは、いつかどこかで♪

●Discography●

- V.A(Bring the Noise) ■V.A(Jam Down) ■CORN HEAD(Miracle Da 8)-[夏の終りの...] feat.MAYA
- 湘南の風presents mixtape [HOT134]-[Blue Bird]
- V.A [Stop the AIDS Club Movement-say safe sex]
<http://www.shogunate.co.jp/>
- プロサーファー佐久間洋之介DVD [Dancing On The What] <http://www.yonosukefilm.com/>
- SAVE THE JAPANESE CHILDREN/V.A
<http://www.shogunate.co.jp/>
- V.A (RE : YOKOHAMA) - [途切れた愛の歌]

●14期同期会



3組幹事 鈴木美紀子

“5年毎に会おうね！”の約束で、卒業21年目から始まった14期同期会。その4回目が2006年9月16日(土) 14:30より観音崎京急ホテルにて開催されました。

ホテル内の人気のspassoの利用券もついて、お風呂に入る人もあり、青い海を眺めながら、懐かしい先生方や仲間達と歓談。緑のガーデンへ降りて夏の終りの日射しを浴びながら又飲みなおしたりと、リゾート気分の中話はずみ、夕日の沈む頃観音崎を後にしてめざすは上大岡へ。皆それぞれに2次会へと散って行きました。

今回は松下先生、石原先生、蕪木先生、石川先生、関先生、矢島先生(クラス順)6名の先生方がお見えになり、感激でした。次回、5年後の還暦での再会を楽しみにしています。

●38期同期会

岡崎 広子



2006年11月11日(土)、旧友88名が中華街ローズホテルに集い、南高校38期同窓会を盛大に開催いたしました。当日は安達先生にもご出席いただき、卒業後13年ぶりに再会した仲間と高校時代の昔話を花を咲かせ、大変盛り上がりました。

皆、進む道は違えど同じ校舎で学んだ仲間として深い友情で結ばれていることは言うまでもありませんが、今回の同窓会が寄り一層深い絆で結ばれるきっかけとなればうれしい限りです。

次回開催(いつになるものやら…)が今から楽しみです。(同窓会幹事 白居・大友・石川・芋田)

予定の2倍以上の方々に集まって頂けた。会場は120人用の部屋を用意していたため、正にすし詰め状態。いささか窮屈ではあったが、逆に互いの距離が近いことで会話がしやすく、たくさんの旧友と再会できたのではないかと思う。

パーティーは終始盛り上がり、先生方からのビデオレターが上映された際には、皆が食い入るように画面に見入り、ビデオという媒体を通してではあるが、先生方との再会を喜んでいた。こうして感じるのは、皆がいかに南高を愛し、再会を待ち遠しくしていたかということである。ここに、南高校49期生の絆の深さを知ることが出来た。

全体を通して、今回の同窓会は成功したと言って良いだろう。多少バタバタとすることもあったが、それを忘れるほどに楽しめた。何より、こんなにたくさんの同期生に集まって頂いたことに感動している。最後にこの会のために尽力して頂いた、金子先生、同窓会委員の方々、そして協力してもらった多くの友人たちに感謝申し上げます。



●49期同期会

代表幹事 手島聖太

2007年1月8日、私たち南高校49期生は、成人式を迎えた。早いもので、卒業して約2年が経つ。今回の同窓会は、懐かしい友に再会し、お互いの成人を祝うために催されたものである。当初の予定では、80人前後の同胞が集まれば成功であろうと想定していたのだが、驚くことに、当日集まった人数は173名。

2006年度(平成18年度)同窓会表彰

●本年度、スポーツ部門で顕著な成績を収めた現役生徒の榮譽を称え、同窓会より表彰されました。

◇個人表彰

立野勝也 1年2組 弓道部

第25回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会出場

◇団体表彰

弓道部

第25回全国高等学校弓道選抜会女子団体出場

第6回東日本高等学校弓道大会女子団体五人制準優勝

第50回関東高等学校弓道大会男子団体予選敗退

第50回関東高等学校弓道大会女子団体予選 ベスト32位

平成19年度教職員移動

● 転出された教職員

事務長	稲垣 晴彦	港北区役所へ
地歴公民	福本 真也	市立桜丘へ
数 学	甲田 祐子	市立金沢へ
数 学	三浦 昌彦	市教委へ
理 科	大橋 博	市立金沢へ
保健体育	小栗 通義	図書館へ(定年)
保健体育(臨)	勝山 宏美	みなと総合横浜商業へ
英 語	宮本 充男	みなと総合へ(定年)
英 語(臨)	菊野 芳子	未定
家 庭(臨)	小原 佳子	未定
技術員	戸田 健太郎	東汲沢小へ

● 着任された教職員

事務長	望月 透	旭区役所より
地歴公民	鈴木 孝昌	市立戸塚より
数 学	田辺 博	市立東より
数 学	日向 広暉	新任
数 学	矢野 文明	市立戸塚より
理 科	武井 敏夫	市立金沢より
理 科(臨)	高橋 達人	市立平戸中学より
保健体育	佐藤 賢司	市立横浜総合より
保健体育	立貞 栄司	市立鶴見より
英 語	湯地 智之	新任
英 語	内田 洋子	臨任
養 護	大八木 宏美	臨任
技術員	遠藤 信之	市交通局より

同窓会役員紹介

役 職	期	氏 名
会 長	5	小後摩 基
副会長	6	蒲谷 壽昭
副会長	13	桐生 秀昭
事務長	14	菊地 晶江
理 事	5	山崎 敏昭
理 事	6	鈴木 豊
理 事	6	山野井正郎
理 事	7	保阪 努
理 事	10	岩田 力
理 事	10	工藤 昌代
理 事	12	青木 幸夫
理 事	12	鈴木 正
理 事	13	岩本しのぶ
理 事	13	尾崎 由朗
理 事	14	樋口 勝軌
理 事	18	山形 和弥
理 事	18	高田 桂子
理 事	19	菱刈 範之
理 事	23	比留川秀一
理 事	26	粕谷 正伸
理 事	43	田村 勇人
理 事	45	只木 聡
顧 問	1	松村 祥男
顧 問	1	阪柳 定男

◆ 「南高校スポーツ・文化・福祉振興助成制度」

◆ 南高振興制度の位置付け



(南高振興制度)へのご協力をお願い!!

◆ 南高振興制度にご理解ご協力頂ける方は、浄財を下記によりお振込み頂きたくお願い申し上げます。

振込み方法：郵便局または別紙「郵便局振込用紙」による

口座番号：00270-0-50174

名 義：横浜市立南高等学校同窓会

◆ その他

1. お一人2,000円以上でお願い出来ればと思っております。

2. お振込みに際し、お名前(併せて旧姓も)・ご住所・卒業生の方は卒期をお書き下さい。

3. 振込み手数料は、専用郵便局振込み用紙の場合、同窓会で負担致します。

4. 制度の詳細をお知りになりたい方、振込み用紙が必要の方はFAXでご連絡下さい。

事務取扱責任者 同窓会事務局 事務長 菊地晶江 FAX：045(743)4475